

海を守るために

長野県上田染谷丘高校 1年4組 中澤柚樺

この課題に関わるSDGsの番号

14、海の豊かさを守ろう

海の汚染を防ぐこと、魚介類をとりすぎないようにすること、海洋資源を持続的に利用することなどが目標。



テーマ設定の理由

今の海の現状を知り、海を守りたいと思ったから。

海を守るために何ができるのか気になったから。

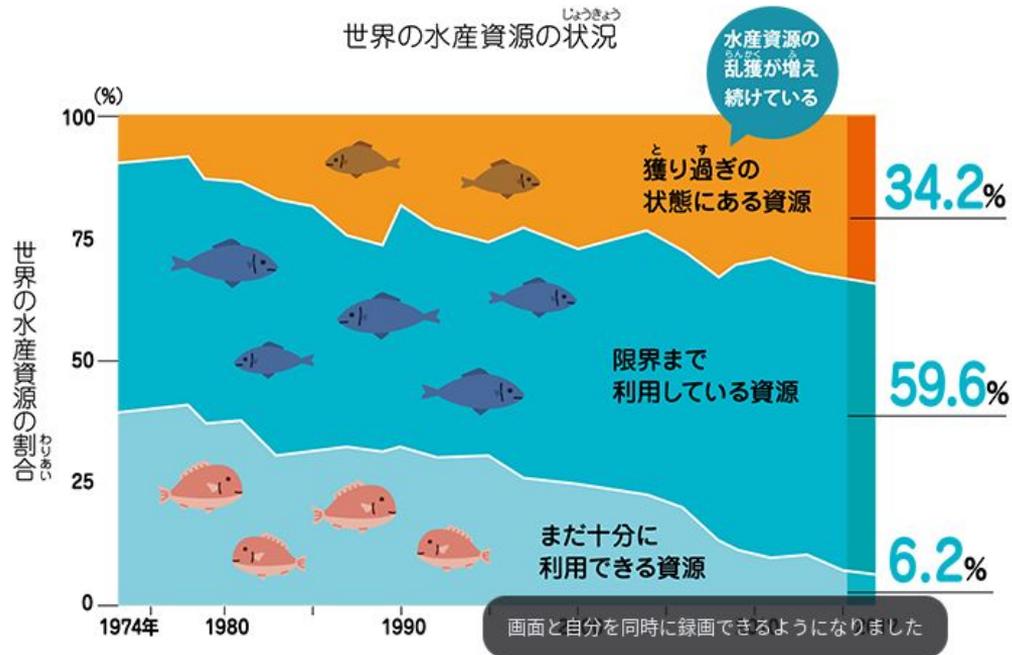
現状1

世界の海洋汚染の約80%は、陸の活動で発生した汚染によるもの。私たちが使っているペットボトルやビニール袋などのプラスチックゴミが年間900万～1400万トン(2016年時点)、海に流れ出ている。



現状2

魚などのとりすぎで、多くの海の資源が減ってしまった。魚をとる量や違法な漁業が増え、魚資源が減ってしまい、まだ十分に利用できる水産資源がたったの6,2%になってしまった。



課題

1,プラスチックはゴミとして捨てられると、自然に分解されることがほとんど無く、最終的に海に行き着く。海の中で碎けて小さな破片となったプラスチックを、魚や海鳥たちが餌と間違えて食べてしまう。きれいな海と、海の生き物を守らなければならない。

2,世界の人口が増え、漁業の技術も進歩したせいで、「魚のとりすぎ」が問題になっている。魚などの海の生き物をずっととり続けられるような仕組みを考える必要がある。

解決策

1、「海のエコラベル」と呼ばれているものの1つに、いつまでも魚を食べ続けることができるように、海の自然や資源を守りながらとられた水産物であることを示すマークである「MSC認証マーク」がある。このようなエコラベルがついた魚を買うことも、海を守ることにつながる。

2、マイバックやマイボトルを持ち歩く、ペットボトルはリサイクルに出す、などプラスチック削減を心がける。

10代からの提言

海外のように、プラスチック製のストローやレジ袋を使用禁止にする

植物など再生可能な有機資源を原料とするものや二酸化炭素と水に分解されるバイオプラスチックの利用



感想

私達の生活が原因で、海の生き物たちに悪い影響がたくさんあったり、魚資源が減っていることを知って、私達人間の生活(プラスチックの使い方)を見直さないといけないと思った。まずは自分にできる身近なことからSDGsを意識して取り組んでいきたいと思った。